

「ひまわりのような笑顔」

梅雨明けと同時に襲ってきた猛暑、いつまで続くのでしょうか。外出もままならず、せめて前庭の木陰でお茶でも…と、利用者さんたちと外に出てみれば適当な木陰などどこにもなく、仕方なく玄関先に椅子を並べて座ります。直接日差しは当たらないものの容赦ない熱気にあえなく撤退と相成りました。

さて、エアコンの効いた室内では別の利用者さんたちが何やら熱心に製作中です。テーブルの上に広げられた布の上で黄色と茶色の絵の具やマジックが踊っています。こちらの方では大きな葉っぱに緑の絵の具を塗り付けぺたぺた押し付けています。どうやらひまわり

のようですね。現在アンジュールの壁には利用者さんたちによる力作

「紫陽花」が掛けてあるのですが突然やってきた盛夏に交代を余儀なく

されたようです。「あんた、その色私のと違うよ」「そこに葉っぱ押したらおかしいことない？」などと言われながらも完成したときは「ええな。夏らしい。うん」とみなさん嬉



しように眺めておられました。

これから夏休み、お盆とご家族が会いに来られることが多くなりますが、ある利用者さんは「私には家族がおるんですか?何にも思い出せんよ」と度々不安そうにおっしゃっています。しかし、そ



のような場合でもご家族が現れた瞬間、ぱあっと笑顔が広がります。ひまわりのような笑顔とはこのことですね。改めて家族の絆の強さを感じた一瞬でした。